

STAP 論文に関する調査報告を受けて

この度、調査委員会より、当センターの職員が共著者となって発表した論文に不正が認められたとの報告を受け、センターの責任者として、このような事態が生じたことについて心よりお詫び申し上げます。調査報告を非常に重く受け止めております。

当センターでは、若い研究者が独創的な発想を試みるための研究環境を提供することが、科学研究の発展のために重要であるとの信念から、若手を研究リーダーとして登用することを推進してきました。これにより、若手による国際的に評価の高い研究成果を多数発信していただくことができ、今後も、この方針には変わりはありません。一方、若手登用に伴うサポート体制が不十分であったことを今回、大きな痛みとともに学びました。

今後、理事長を本部長とする改革推進本部の方針の下、今回の問題に至った経緯をセンターとしても検証して参ります。特に、若手のサポートのあり方、論文作成におけるデータ管理、研究成果の発信方法等について検証し貢献していく所存です。

一方、STAP 現象の科学的検証については、理事長主導の下、当センターの研究者を中心に理研自身が厳密な検証実験を行ってその結果を公表し、第三者が検証するための基盤を提供して参ります。この作業には 1 年程度の時間を要する見込みですが、中間結果の公表も予定しております。当センターとして、これに着実に取り組んでいく所存です。

今後、緻密な実験とそれに基づく質の高い研究成果を発信していくことが、信頼回復のために何よりも重要と考えております。そのためにセンターが一丸となって最善を尽くして参ります。

2014 年 4 月 1 日

独立行政法人 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター
センター長 竹市雅俊